

電話リレーサービス支援業務諮問委員会（第4回）議事概要

1. 開催日 令和5年2月10日（金）WEB会議
2. 場所 一般社団法人電気通信事業者協会
3. 出席者 【委員】（五十音順、敬称略）
小澤 正憲、菊池 馨実、岸田 隆司、篠原 伸生、
砂田 薫、関口 博正、松井 敏彦、山崎 拓 （8名）

欠席者 大塚 晃、鴻池 庸一郎、小浦 道子、山本 健一

【一般社団法人電気通信事業者協会】
山本 一晴（専務理事）、有木 節二（支援業務室長）

4. 議題

【審議事項（諮問事項）】

- （1）令和5年度の番号単価の算定について
- （2）令和5年度交付金の額及び交付方法、負担金の額及び徴収方法並びに総務大臣への認可申請等について
- （3）その他

5. 議事概要

事務局（開会宣言）

（専務理事挨拶）

（諮問委員12名中8名出席で定足数を満たしており、本会議は成立している旨を報告）

（資料の確認）

委員長 これより審議に入ります。TCA会長からの諮問事項が2件ございます。まず、審議事項(1)「令和5年度の番号単価の算定について」を審議いただきます。

（事務局説明）

委員長 只今の説明について、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

委員 資料1-4について質問します。令和4年度の利用料収入が当初の予測より伸び悩んでいるということですが、令和5年度は昨年度の予想と大体同じなのでここはまだ認知の面で課題があるという理解でよいですか。

事務局 令和5年度収入予想額は令和4年度実績を歳出根拠としていますが、未だ未だ認知の面の課題のみならず登録や手続き関係の繁雑さという課題が残っているため、それを解決すべく今回の予算が計上されています。その対策を講じながら募集を

行うことで昨年度同等の収入の予想額を計上したということです。

委員 ありがとうございます。登録者数等適宜チェックができる仕組みがあると良いと思います。

委員長 他にございますか。

委員 聴覚障害の方が30万人強おられる中で、登録者数が1万1千人超ということでしたが、まだまだ利用者数を伸ばすような公共インフラとして発展していくことが必要だと思います。一方で民間サービス等、この電話リレーサービスを使わずに他の手段を利用している聴覚障害者の方もおられると思います。そこでお願いとして、電話リレーサービス登録者の方だけでなく、他の手段も含めて利用されている障害者の方が、どのような手段を現在利用しているのか、どのような手段を望んでいるのか、ということを含めて今後アンケート等で調査いただき明らかになると良いと思います。今は手話を使わずにスマホで店の予約が出来るなど、色々な手段が使われていますが、メールではやりづらい案件、このサービスだから使うというメリットを広報活動に活かしていただければ、他の手段ではない電話リレーサービスならではのメリットを発信できると思いました。また、公共サービスですけども、今後、費用対効果について見ていくということも大切ではないでしょうか。

委員長 他にご意見等ございますでしょうか。では、その他ご質問、ご意見無いようですので審議事項(1)「令和5年度の番号単価の算定について」につきましてはご了承をいただいたものといたします。

次に審議事項(2)「令和5年度交付金の額及び交付方法、負担金の額及び徴収方法並びに総務大臣への認可申請について」審議いただきます。

(事務局説明)

委員長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。それでは諮問のとおりの内容で了承のことといたします。本日予定された議事は以上でございます。事務局へお返しいたします。

事務局 本日はお忙しい中、第4回支援業務諮問委員会にご出席いただきありがとうございます。引き続きよろしく願い申し上げます。